

マーシャル諸島の水不足に海水淡水化装置で挑む

～太陽光発電を利用した小規模海水淡水化システム～

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において水処理エース株式会社(東京都、珍坂 洋 代表取締役)が提案する「太陽光発電小規模海水淡水化システム案件化調査」(マーシャル諸島共和国)を採択しました。

地球温暖化の影響を受けやすい環礁低地国のマーシャル諸島は、干ばつの頻発により恒常的な問題となっています。海水を利用する海水淡水化装置は気候変動に影響されない有効な給水手段ですが、電源やメンテナンスの問題で、水不足に苦しむ離島での活用が十分進んでいません。

水処理エース株式会社の製品である太陽光淡水化システムは完全独立型太陽光発電により電源のない離島でも長期に確実に飲料水を供給できる他、遠隔監視によるメンテナンスが可能のため、マーシャル諸島における水不足の解決が期待されます。を解決できます。



日量8m³海水淡水化装置
海辺での試運転イメージ



日量8m³海水淡水化装置
水処理エース九州工場での完成写真

今回の調査においてはマーシャル諸島政府と協力し、ODA の案件化と現地でのビジネス展開計画の策定を行います。この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 1 回分は本年 2 月に公示を行いました。117 件の応募のうち 35 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 安井(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp